

第37回 免震構造設計セミナー on Webのご案内

テーマ:「耐震性能を高めるレシピー、…… 制振・免震構造の選択方法(事例1)」

これまで2005年から19年に渡り、免震建築の設計技術の普及として、このセミナーを行ってきました。これまで“免震と制振を比較すると明らかに免震構造が耐震性能は高いと信じているため、制振構造との比較検討をしてきませんでした。”業務受託時には既にその構造形式ありきで対応してきたのが実情です。建物の計画過程においては、最適構造を選択するためにはかなり時間を要します。その要因として要求性能・機能、計画地の状況、想定地震の規模と発生確率、必要経費などがあり、適正な構法・構造を選択することは容易でなく、実設計ではこの選択に悩まされます。

大規模地震が頻発する近年、設計過程でより高い耐震性能の要望があれば、現状は免震構法と制振構法が考えられます。各構法については、多くの書籍があり、それらを採用することは容易となっている。

しかしながら、選択方法について書かれた書籍(レシピー)はあまり見当たらない。選択は、発注者、設計者の責任ということでしょう。

今回は、このような状況に立ったとして、耐震構造で設計された建物例を用いて2構法の検討を試みた。ここでは、技術的な話題ですが、正解は無く、試行結果として解説いたします。

| | |
|---|-------------|
| 4月13日(木) 17:00~19:15 | 予定時刻 |
| <はじめに> 近年の地震活動と制振建築と免震建築の普及 | 17:00~17:30 |
| <第1話> 耐震構造で設計された例題モデルの諸元と耐震性の紹介 | 17:30~18:00 |
| <第2話> 例題モデルを制振化した事例のトレースと制振化のポイント | 18:00~18:30 |
| <第3話> 例題モデルを免震化した事例による免震化のポイント | 18:30~19:00 |
| 質疑 Time 談話 | 19:00~19:15 |
| 4月14日(金) 17:00~19:15 | 予定時刻 |
| <第4話> 制振構造に変更する流れとポイント | 17:00~18:00 |
| <第5話> 免震構造に変更する流れとポイント | 18:00~18:30 |
| <第6話> 制振化と免震化のポイントを列記すれば見える選択ポイント | 18:30~19:00 |
| 質疑 Time 談話 | 19:00~19:15 |
| 定員：10名(先着順) | |
| 参加費：無料 | |
| なお、テキストは、引用文献などの著作権の関係上、配布はありません。ご了承ください。 | |

- 主催・講師： C E R A 建築構造設計事務所 世良信次
- 会 場： Zoom ミーティング (開催案内 (ID, パスワード) は、前日送信致します。)
- 問 合 先： Tel : 090-5342-4018 Fax : 049-298-5902
E-mail : cera-design@nifty.com (申し込み先メール)
- ホームページ : <http://cera.world.coocan.jp/>
- 共 催：(一社)日本免震構造協会 (JSSI)
- 協 賛：ユニオンシステム, SWCC, 住友金属鉱山シポレックス, 免震テクノサービス
- 申込みは、電子メールで参加日、所属、氏名を記入しお送りください。
申し込みを受信しましたら、翌日「受理確認」を申し込み時のメールで返信いたします。
- 申し込み人数状況は、上記ホームページに公開します。